

やいまのイマイユでふるさとづくり (平成23年度認定)



八重山漁業協同組合は、石垣市・鳩間・西表の各漁協が合併し昭和47年に発足し、現在では石垣漁港・西表漁港・波照間漁港を活動拠点としている。

地元八重山の"イマイユ(鮮魚)"の価値を発信させようと、平成17年より開催されている"お魚まつり"の事務局として延べ12,700名を集客し、地域漁業の発展と地域内外の交流に貢献している。まつりでは、魚の解体ショーや販売、魚に触れる水槽等様々な体験型イベントを催し、地域住民に喜ばれている。

また、未来の海人のために、子供や学生などを対象に漁業体験とサンゴ養殖体験プログラムなどの生業体験を行っている、こちらも地域内外の参加者で交流を深めている。地元水産資源の大幅な減少へ歯止めをかけるため体長制限や禁漁区などによる資源管理に取り組んだり、環境保全活動についてもオニヒトデ・サメ駆除やタカセガイの種苗放流、海浜清掃を行うなど非常に活発であり、漁業の未来のため【やいまのイマイユでふるさとづくり】に取り組んでいる。



お魚まつり



お魚まつり(解体ショー)



サンゴ養殖体験プログラム



オニヒトデ駆除



定置網体験漁



定置網体験漁